

平成30年

# 区民委員会会議録

とき 平成30年7月30日

品川区議会

平成30年 品川区議会区民委員会

日 時 平成30年7月30日（月） 午後1時00分～午後2時30分

場 所 品川区議会 議会棟5階 第3委員会室

出席委員	委員長 本多健信君	副委員長 浅野ひろゆき君
	委員 渡辺裕一君	委員 のだて稔史君
	委員 大倉たかひろ君	委員 藤原正則君
	委員 田中さやか君	

出席説明員	堀越地域振興部長	伊崎地域活動課長
	遠藤協働・国際担当課長	菅生活安全担当課長
	提坂戸籍住民課長	山崎商業・ものづくり課長
	安藤文化スポーツ振興部長	立川文化観光課長
	池田スポーツ推進課長	辻オリンピック・パラリンピック準備課長

○午後1時00分開会

○本多委員長

ただいまから区民委員会を開会いたします。

本日は、お手元に配付の審査・調査予定表のとおり、報告事項、所管事務調査、行政視察について、およびその他と進めてまいります。

本日も効率的な委員会運営にご協力をよろしく申し上げます。

本日は、1名の傍聴申請がございますので、ご案内いたします。

---

1 報告事項

(1) 品川区・オークランド市友好都市協定締結25周年について

○本多委員長

初めに、予定表1の報告事項を聴取いたします。

まず、(1)品川区・オークランド市友好都市協定締結25周年についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者よりご説明願います。

○遠藤協働・国際担当課長

それでは私から、品川区・オークランド市友好都市協定締結25周年について、ご報告申し上げます。

まず、「1 概要」でございます。ニュージーランド国のオークランド市でございますが、北半球と南半球の違いはございますが、ほぼ同じ経度にある島国でありまして、品川区と同様、非核宣言を制定している関係から、当時のマウントロススキル区との交流が開始されまして、1993年に、その後に合併しましたオークランド市と友好都市協定を締結したものでございます。

今年は、友好都市協定締結25周年を迎えたことから、オークランド市長が品川区に来訪されまして、今までの両区市間の友情を深めるとともに、今後も協力していくことを確認するものでございます。

「2 オークランド市長による区長表敬訪問」でございます。日時は、明日、平成30年7月31日10時半にお見えになる予定でございます。

場所は、品川区役所です。

(3)でございますが、お見えになる方は、フィル・ゴフオークランド市長、それからスティーブン・ペイトン在日ニュージーランド大使閣下、それからキャス・ネルリンフィールドカレッジ校長、青少年の語学派遣研修を行っております学校になります。こちらのほか、全部で10人がお見えになる予定でございます。

そのほかといたしまして、(4)ですが、市長の訪問を歓迎するために、本庁舎3階プラッツァで職員によるお迎えを予定しているところでございます。なお、雨天時につきましては、2階で、同じような形でさせていただく予定でございます。

「3 品川区・オークランド市友好都市協定締結25周年記念展示」でございます。25年にわたる青少年語学研修ほか、さまざまな交流をしておりますので、その資料をもとにしまして、記念展示の形でやらせていただいております。

日時につきましては、7月24日、先週火曜日から来月末、8月31日金曜日となっております。

場所は、品川区役所3階の渡り廊下、本庁舎と第2庁舎の間になります。

内容につきましては、語学派遣研修の資料が中心となっておりますが、あとは先ほど言いましたオークランド市の紹介などもパネル等で展示させていただいているものでございます。

○本多委員長

説明が終わりました。

本件に関しまして、ご質疑等ございましたら、ご発言願います。

○田中委員

記念展示について伺いたいのですが、具体的にどのような展示が行われるのか。展示物だったりとか、そういうご紹介はいただけますか。

○遠藤協働・国際担当課長

基本的には、パネルのようなものをつくらせていただきまして、そちらを展示しております。あと、オークランド市の紹介や、先ほど言った今までの交流の写真などを展示してありまして、あとはニュージーランドの原住民の方の工作物だとか、そういうものをパネルにはっているような形になっております。

○田中委員

そのパネル展示の中には、先ほどお話にもあったニュージーランドのこととかも書かれているということで、非核宣言を制定したこととか、そういうことについての展示だったり説明文書だったり、そういうものもわかるような、非核宣言と絡めた部分、そういう部分の学びが得られるような展示になっているのかということを知りたいです。

○遠藤協働・国際担当課長

非核宣言をもとに締結したということはたしか載っていたかと思うのですが、非核宣言の中身まで展示していたかどうかは、申し訳ありません、把握しておりません。

掲載は、非核平和がもとになったということだけしか載っていないかもしれません。

○田中委員

ニュージーランドで非核宣言が制定された経緯だったりとか、ニュージーランドが非核地帯となっていることが書かれているような説明文書とかがあるのかなと思って伺ったのですが、どうでしょうか。

○遠藤協働・国際担当課長

ニュージーランドというより、オークランド市が非核平和を宣言しているという形で記載させていただいています。

○本多委員長

よろしいでしょうか。

ほかにないようですので、以上で本件を終了いたします。

---

(2) GOOD PARK! 2018～アート、音楽、遊び、発明～の開催について

○本多委員長

次に、(2)GOOD PARK! 2018～アート、音楽、遊び、発明～の開催についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者よりご説明願います。

○立川文化観光課長

では、GOOD PARK! 2018の開催について、ご説明いたします。

まず、目的でございますが、区内の多彩なアーティストや企業がチームを組んで、しながわ中央公園

を1日限りのアート空間に模様替えをし、身近な公園で誰でも楽しむことができ、文化芸術をはじめ、ものづくりの魅力や公園の持つ本来の魅力を体感してもらうために開催するものでございます。

日時でございますが、平成30年8月26日の午前10時からでございます。

会場は、区役所前のしながわ中央公園でございます。

内容につきましては、オリジナル楽器や水鉄砲、かぶりものをつくり、4つの各種ステージイベントに参加できるものとなっております。

4つの各種ステージでございますが、まず【コロガル MUSIC】でございます。こちらは午後4時から開催するものでございまして、アーティストやミュージシャンのパフォーマンスを楽しむものでございます。

続きまして、【ザワメク MOVIE】ステージです。こちらは日没からさまざまなアーティストの映像作品を森の大スクリーンに投影するものでございます。パフォーマンスステージでは、映像とコラボを予定しております。

【ツクレル アソベル WATER】ステージでございますが、こちらは午前10時から開催いたしまして、噴水と水場エリアにおいて、水鉄砲や楽器をつかって水遊びができるものでございます。また、ミュージシャンの演奏にも、つくりましたオリジナル楽器を持って参加できるというものでございます。

続きまして、【ツナガル MARCHE】でございます。こちらは10時からの開催でございまして、ハンドメイド雑貨や本、お菓子など、個性的な店舗などを並べて、暮らし、遊び、学びをつなぐものでございます。

予算額は、725万円でございます。

周知につきましては、広報8月1日号のほか、開催チラシ・ポスター、区ホームページ、また、実行委員会においては、フェイスブック等で周知を図っていく予定でおります。

#### ○本多委員長

説明が終わりました。

本件に関しまして、ご質疑等ございましたら、ご発言願います。

#### ○のだて委員

今回、GOOD PARK! 2018を開催されるということなのですけれども、主催者として品川区と一緒にっておりますGOOD PARK! 2018実行委員会というのは、どういった人たちが参加をされているのか、伺いたいと思います。

また、先ほどご説明のありました目的のところ、文化芸術、ものづくり、公園の持つ本来の魅力を体験してもらうということでしたけれども、本来の魅力とは何なのか、区の見解を伺いたいと思います。

あわせて、体験してもらった先の狙いがあると思うのですが、こういったことを感じてほしいとか関心を持ってほしい、そういった狙いは何なのか、伺いたいと思います。

#### ○立川文化観光課長

実行委員会のメンバーでございますが、基本的にはライブパフォーマンスや映像、また、会場デザインとか、そういった企業の方々が実行委員会を組んでございます。

例えば株式会社タスコが参加しているのですが、こちらは区内で社会貢献事業等を行っている企業と聞いております。また、デザインムジカは空間のデザイン事務所でございまして、会場の構成や装飾のワークショップなどを実施していただく予定でございます。また、アマラブというジャークチキン屋でございますが、こちらはマルシェ運営や会場の構成、装飾のワークショップなどを実施してもら

う予定でございます。

続きまして、公園の本来の魅力ということでございますが、こちらはしながわ中央公園の本来の魅力と読み替えていただきたいのですけれども、この公園の特色といたしましては、噴水があったり、樹木があったり、山なりの芝生があったりします。そういった現状の形なりを活用して会場づくりをして、より楽しい活動ができるといったものでございます。

また、文化芸術、こういったイベントにおきましては、国のほうで芸術文化基本法が策定されまして、その中で、ほかの分野、例えば産業であるとか、そういった分野と連携して文化芸術活動を展開していくという方向性が示されておりますので、区としましては、そういった文化芸術活動の広がりを狙いとしているところでございます。

#### ○のだて委員

実行委員会なのですけれども、そうすると、今ご紹介のあった方々は、参加する方たちが基本的に入って、あとはタスクが入ってやられているということでもいいかということと、今回のGOOD PARK! 2018というのは、チラシからしてすごく楽しそうなイベントなのですけれども、言葉は悪いかもしれませんが、行政が考えられなさそうな形でやられているなという気がするのですけれども、主体というのですか、今回、この企画が実現した経緯というのですか、そのところをどういった形でやられてきて、区がどうかかわってきたのかということを知りたいと思います。

あと、本来の魅力というところで、公園のお話はあったのですけれども、文化芸術とかものづくりのところもお聞きしたので、もしよければご答弁いただければと思うのですけれども、公園のところでは、形状がいろいろ、噴水などがあって、それを活用して楽しめるというお話だったのですけれども、もう少し根源的な公園の持つ魅力を体感してもらいたいということかなと思ったのですが、そういったことではないというか、もしもう少し何か本来の魅力についてあれば、知りたいと思います。

#### ○立川文化観光課長

まず、実行委員会と参加団体との関係でございますが、委員ご指摘のとおりでございます。

それから、行政が考えないような中身だということでございます。こちらは、今までのイベントというのは、実行委員会がある程度決まっています、大体内容についても決まっています。今回は、いわゆる産業とのコラボ、あと新しい芸術分野、そういったところとコラボして何かできないかということで、区内でそういったことに日常的に取り組んでいる団体、企業にお声がけをして、実現していこうということで考えたものでございます。

それから、公園の本来の魅力というところなのですけれども、公園所管ではございませんので、私の個人的な意見になりますけれども、例えば集えること、遊べること、また、自然や空間を楽しむこと、こういったことかと考えているところでございます。

#### ○田中委員

予算がどこについているのかということと、あと、「2018」ということは、来年以降も続けていくものなのですかということと、あと、会場はずっとしながわ中央公園をメインでやられていくのかということが気になるので、教えてください。

#### ○立川文化観光課長

来年度につきましては、現在のところは未定でございますけれども、1つのイベントというのは年数をかけて育てていくものだと考えておりますので、来年度も実施したいと考えています。

会場につきましては、今回実施して、いろいろ課題等も出てくるかと思っておりますので、その辺も勘案し

まして来年度の会場は決定していきたいと考えております。

予算は、文化芸術スポーツ活動支援事業でございまして、こちらの予算の中に入っているということでございます。

#### ○田中委員

ありがとうございます。

#### ○大倉委員

教えていただければと思いますが、予算額の725万円というのは、どういう内訳というか、どういうことに費用がかかるのか。例えば実行委員会がこれぐらいの額でやります、だからそれ全部くださいねとか、2分の1助成なのかとか、具体的にここに幾ら、ここに幾らとかかっているのか、その辺の内訳を教えていただきたいのと、先ほど産業とのコラボで区が声をかけたという認識でいいのでしょうかというところと、どういう人たちをターゲットに、どのくらいの人がある見込みがあるのか、その辺も教えていただければと思います。

#### ○立川文化観光課長

こちらの予算ですが、このイベントにつきましては区の事業でございますので、全額、区が出すことになっております。

内訳については、いま手元に資料がありませんけれども、大きいところでは、ステージをつくる費用でございますとか、出演者への謝礼でございますとか、あと、企画の部分が金額的には一番大きいというところがございます。

ターゲットでございますが、基本的には親子で楽しんでいただくと。夏休みの最終週でございますので、親子がターゲットというところがございます。ただ、親子だけではなくて、ほかの方も楽しめるような仕掛けは用意しているところがございます。

また、来場者の見込みでございますが、開催日につきましては、大井どんたくもこの日開催しているところがございます。大井どんたくの来場者見込みが3万人程度と聞いておりますので、その何割かはこちらにも来ていただけるように、チラシ等もどんたくの会場で配布してもらうことを調整しているところがございます。

#### ○大倉委員

どんたくと合わせて、どんたくとも連携をしながら、相乗効果でこっちのほうにも子どもたちいっぱい来てもらって、遊んでもらいながら、どんたくも楽しんでもらうという視点がかなり入っているということでしょうか。

#### ○立川文化観光課長

やはりイベント会場ごとの連携というのは、この夏も可能な限りやっていきたい。そうすることによって回遊性を持たせることもできますので、より双方のイベントが盛り上がると考えているところがございます。

#### ○渡辺委員

すごく楽しそうなイベントだなと思うのと、今後こういうのが増えていくと、2020を中心に文化、アートというのがキーワードになっていく中で、構成団体のことをもう一度教えてください。実行委員会の構成なのですが、今日配付されたチラシの裏に、参加アーティスト、企業という、おそらくここが実行委員会に属している人たちなのかなと思われるのですが、基本的には区内で活動している人たちですか。区内に所在地がある、あるいは区内在住であるとか、どんな形でこの人たちが参加されているの

か。構成団体決定の経緯を教えてください。

#### ○立川文化観光課長

実行委員会を組織した経緯でございますが、まず、区内で活動されている企業を紹介いただきまして、その企業を中心としてさまざまお声がけをさせていただいて、それで、参加者イコール実行委員会ということではございませんが、そういったつながりの中で、区も入りまして、実行委員会を組織しているところでございます。

#### ○渡辺委員

よくありがちな、イベントがあるときに、幹事会社というか、企画会社がどーんとあるわけではなくて、区が主催で、それぞれ実行委員会の中で役割が分担されているという考えでいいのか。それとも、1社、窓口があって、そこが基本的には企画運営をされているのか、その辺を教えてください。

それとあと、先ほどの来場者のところは、多少なりとも見込みがあったほうがいいのではないかと。今後もこういうものが増えてほしいと思うので、1つの基準になるだろうと思われるので、ものすごく期待をしているので、教えてください。

#### ○立川文化観光課長

まず、実行委員会の核となっただけでございまして、こちらはこういった先進的な企画を各地でやられているところでございます。そこに品川区ゆかりの企業であるとか団体をなるべく入れていただいて、構成しているものになります。

来場者見込みでございますけれども、初めてのイベントでございますので、少な目に見込みまして、現在、2,000名を予定しているところでございます。

#### ○浅野副委員長

見るからに楽しそうなイベントということで、たくさんの方が来場されることを望むものであります。

その中で、一番下に周知方法というのがありまして、広報8月1日号、また、区のホームページ、これは常にいただいている広報の仕方だと思いますけれども、開催チラシとポスター、この2つなのですが、開催チラシはどのような形で配布をするのかなということと、あとポスターですけれども、これはどういうところにはり出すのか。それを含めて、枚数なども教えていただければと思います。

#### ○立川文化観光課長

配布でございますが、学校ももう休みになっておりますので、基本的には区の出先施設に配布いたしまして、また、駅等にご協力いただいて、チラシを配布します。また、ポスターにつきましても、区内の町会等の掲示板と、また、駅等のスペースも利用させていただきたいと考えております。

配布枚数は、手持ち資料がございませんので、正確な数字をお伝えすることができません。

#### ○浅野副委員長

やはりどこまで区民の方に宣伝できるかということと、あと、例えば区のホームページを見て来られる方、区民でなくても来られる方もおられると思いますので、そういう意味では、初めての取組みだと思いますけれども、次につながるような形で、いろいろ分析もしていただきながら、発展できるようにしていただければと思いますので、よろしく申し上げます。

#### ○本多委員長

よろしいでしょうか。

ほかにないようですので、以上で本件及び報告事項を終了いたします。



## 2 所管事務調査

### ○都市型観光について

～各種イベントの取り組み状況と今後のあり方について～

### ○本多委員長

次に、予定表2の所管事務調査を議題に供します。

本日は、都市型観光のうち、区で開催している各種イベントの取り組み状況について、理解を深めた上で、今後の展開やその方向性について議論ができればと考えております。

それでは本件につきまして、理事者からご説明願います。

### ○立川文化観光課長

それでは、都市型観光について、各種イベントの取り組み状況と今後のあり方についてでございます。

まず、品川区の観光施策については、平成28年3月に策定いたしました品川区都市型観光プランを基本的な戦略計画と定め、展開しているところでございます。

「1.しながわ観光のコンセプト・目標」でございますが、こちらは「繰り返し訪れて楽しいまちしながわ～日常の生活環境に着目した官民連携による都市型観光の推進～」ということでございまして、商店街や水辺、公園、地域の祭礼など暮らしや生活に根差した資源を通して、来訪者が区民と触れ合い交流することで、繰り返し訪れて楽しい観光都市を目指すというのが、品川の観光のコンセプトということでございます。

「2.しながわ観光の戦略と施策」でございますが、まず、(1)観光コンテンツの充実と情報発信、(2)連携による魅力向上と魅力的な環境づくり、(3)しながわ観光を支える体制の充実、こういったことが戦略の柱でございまして、今回は2の(1)観光コンテンツの充実というところから、各種イベントの取り組み状況ということで、ご説明したいと思います。

まず、3の「(1)ウォーターフロントを核とした賑わい創出」でございまして、こちらは水辺の観光利用の促進でございます。主なイベントでございますが、計7つ挙げさせてもらっているところでございます。イベントを多数、資料に載せておりますので、ポイントだけ説明させていただきます。

まず、「しながわフェスウィーク2017」でございますが、こちらは天王洲や品川シーサイド、勝島、五反田、御殿山など、春祭りを実施している14団体が開催する会場を、バスやシェアサイクル、スタンプラリー、水上バスなどで連携してイベントを実施しているものでございます。

次の「しながわ運河まつり」でございますが、こちらは地元が主体となって実施してきたイベントでございます。

それから「大崎センタービル2017目黒川の桜イベント」でございますが、こちらは東京建物のビルでございまして、いわゆるビル空間を利用した大崎エリアの魅力発信と地域コミュニティの促進という目的で実施しているものでございます。

次の「天王洲キャナルフェス2017」でございますが、こちらは天王洲キャナルサイド活性化協会が年間を通して水辺の魅力向上のためにいろいろとイベントをやっているものでございます。

それから、「しながわ・おおた水辺の観光フェスタ」でございますが、こちらは大田区と品川区の水辺を結んで、また、五反田地区、勝島地区、八潮地区といったところと連携をとりながら、水辺をキーワードにイベントを打っているものでございます。

それから最後の「桜・菜の花まつり2018」でございますが、こちらは立会川から鮫洲にありますしながわ花海道で、今年3月でございますが、初めてお祭りという形でイベントをこの地を利用して実

施したものでございます。

それから、「(2)商店街活用」でございます。こちらは商店街という日常空間を活用した商店街イベントでございまして、商店街の魅力向上の取組みの1つであり、また、来街者の増加やまちのイメージづくり、知名度向上などに資するものとして実施しているものでございます。

まず、「かむろ坂桜のライトアップ」でございしますが、こちらは東京都の観光財団が補助金を出しまして、かむろ坂、約500メートルなのですけれども、こちらをお花見スポットにするという取組みでございまして。

それから、「ムサコフェス」でございまして。こちらはタケノコの産地として武蔵小山は知られておりますが、6年前から実施しているもので、テーマとしましては、有名なシェフがつくったタケノコ汁を配布することがメインでございまして、それ以外に吹奏楽の演奏でありますとかダンスなども実施されているものでございます。

それから、「大井どんたく夏祭り」につきましては、盆踊りのほか、キッズやジュニアのダンスコンテスト、子どもプール、白バイ乗車体験などを実施しているものであります。

「としぎんざまつり」、「目黒のさんままつり」、また、「しながわ夢さん橋」、こちらは地元の商店街がかなり以前から精力的にお祭りを実施していただいているもので、回数を見てわかるとおり、現在では区の内外からお祭りに参加する方がいるところでございます。

「中延よさこい祭」でございしますが、こちらは「中延ねぶた祭り」と隔年で開催しているものでございまして、飲食店フェアや飲食屋台、また、昨年度はよさこいの本場、高知県のブースも出店しております。

それから、「戸越公園南口秋の祭典」でございまして。こちらは、テーマとしましては、芋煮会とかキノコを食べるとか、そういったことに加えて、まちのアーティストの発表会、抹茶を楽しむ会、そういった団体の方も参加されているものでございます。

それから、最後の「なかのぶジャズフェスティバル」でございしますが、こちらにも既に12回開催したというものでございまして、特徴的なのが、3月に荏原文化センターでプロの方をお招きしてジャズのコンサートが実施されるのですが、2月に毎週、商店街で記念のプレイベントを実施しているということで、地元の音楽関係の方、また、学校の方などが参加して、このフェスティバルを盛り上げていくと聞いているところでございます。

続きまして、「(3)歴史資源活用」でございしますが、「しろへびサミット in しながわ」でございまして。こちらは二葉、豊町、戸越、西大井一帯をスネークタウンとしてまちの活性化を目指すものでございまして、山口県岩国市と群馬県沼川市とのコラボの事業でございまして。

それから、「えばら観光フェア西小山物語～Hanamachi～」でございしますが、こちらは西小山は歴史的には花街であった時期があるということで、そういったことにちなんで、ステージイベントや地元店舗の出店でにぎわいを創出しているものでございます。

続きまして、「(4)スポーツ」のイベントでございしますが、「大井東京マラソン大会」でございまして。こちらは区の事業ではございませんが、マラソンコース、大井ふ頭中央海浜公園の中を周回することによって、幾つかの距離のマラソン競技がありまして、このところ、毎年実施しているものでございます。

次の「合戦フェス」でございしますが、これは全国巡回型のイベントでございまして、チャンバラ合戦をするということで、昨年度は大井競馬場を利用して、合戦フェスの実行委員会の団体が実施したもの

でございます。今年についてはまた違う地域で実施すると聞いているところでございます。

それから、「ブラインドサッカー東日本リーグ」と「ブラインドサッカーワールドグランプリ」でございますが、そちらは日本ブラインドサッカー協会と区で開催にこぎつけたものでございます。

続きまして、「(5)文化・芸術」でございますが、まず「サムライアイランドエキスポ2017」でございます。こちらはキャナルサイド活性化協会で、テクノロジーと平和をテーマにIT技術で世界を変えるサービス・アイデアを体感するイベントということで実施した、産業をテーマにしたイベントということでございます。

続きまして、「伝統日本文化体験めぐり IN SHINAGAWA」でございますが、こちらは区と観光協会が、訪日外国人と在日外国人を対象に、それとおもてなしに興味のある方を対象に、100人規模の伝統文化体験のイベントを、東急電鉄と連携して実施したものでございます。

「Re:animation10」でございますが、こちらは単発のイベントでございますが、区は後援名義を出しているものでございまして、潮風公園において、アニメソングやダンスミュージックの文化振興事業を実施したものでございます。

それから、「品川アーティスト展」でございますが、こちらは区民芸術祭の関連イベントでございますが、きゅりあんと大井町駅前のペDESTリアンデッキを利用して、昨年度につきましては、品川ゆかりのアーティストが品川道をテーマにイラストや写真、演劇、ダンスなどを表現し、また、ワークショップやスタンプラリー、アートなどを体験したものでございます。

それから、「ドキュ・メント@品川宿」でございますが、こちらは後援名義を出したものでございまして、品川宿一帯を舞台としてドキュメンタリー映画をつくったというものでございまして、文化の形成と地域振興に資するものとして、後援をしたものでございます。

それから、「日本イラン建築・都市会議」でございますが、こちらは会場が寺田倉庫の建築会館でございますが、これは後援をしたものでございまして、内容としましては、日本とイランの建築の専門家を集めた国際シンポジウムの開催と展覧会でございますが、いわゆるMICEという視点から、こういったイベントもこれから品川区内で開催されるのが望ましいのかなということで、挙げさせていただいたものでございます。

それから、最後の江戸里神楽を観る会でございますが、こちらは教育委員会の文化財が担当する事業でございますが、間宮社中の江戸里神楽は区内で唯一の重要無形民俗文化財に指定されているということでございます。また、今年3月に実施しましたのは、品川神社の太々神楽が東京都の指定無形民俗文化財に指定されていて、それもあわせて実施したものでございます。

続いて、「(6)ショートトリップ」でございますが、品川区の都市型観光プランにおきましては、今ご説明しました(1)から(6)までが観光施策の方向性を大きく示したものでございまして、(6)につきましては、品川のまち歩きという視点でイベントを増やして、来街者の増加につなげていくことを狙いとして実施しているものでございます。

「(7)その他」でございますけれども、直接観光イベントということではございませんが、来街者の増加、まちのにぎわいにつきましては、各種イベントを実施して増加を図ることが重要だということで、こういった物産展であるとかイルミネーションの装飾だとか、そういったものをその他ということで挙げさせていただきました。

#### ○本多委員長

説明が終わりました。

ご質疑、ご発言等がございましたら、ご発言願います。

#### ○田中委員

勉強不足で申し訳ないのですが、**「都市型観光」**と検索したときに、品川区の都市型観光が一番先頭に出てくるのですね。23区の中で都市型観光というのは、どのような状態か、もしわかれば教えていただきたいです。

#### ○立川文化観光課長

23区ありまして、観光施策に力を入れているというのは全ての区ではございませんで、やはり幾つかに限られるかなというところがございます。そんな中で、品川区のように都市型観光プランという基本計画を策定して実施しているところもまた少ないというのが現状でございます。実数については、資料がございませんので、お話しできないところがございます。

「都市型観光」で検索していただくと、まず品川区の都市型観光プランが来るというのは、委員ご指摘のとおりでございます。それぐらい品川区の都市型観光に対する取組みは全国でも注目されているということで、検索順が1位になっているものと考えているところがございます。

#### ○田中委員

力を入れている区は幾つかあるということですが、わかる範囲で教えていただけたらと思います。

#### ○立川文化観光課長

まず、台東区でございます。それから墨田区でございます。また、港区です。隣の大田区についてもやはり力を入れているところがございます。

それ以外では、豊島区であるとか新宿区であるとか渋谷区であるとか、現在でも観光客が訪れるという意味では、その辺はかなり程度があるところかなと考えているところがございます。

#### ○田中委員

今、台東区など力を入れている区を教えてくださいけれども、そこでの情報交換だったり、都市型観光についてのお互いの情報共有とかというのは、されていたりするのでしょうか。

#### ○立川文化観光課長

他地域とどう連携していくかということでございまして、まず港区、大田区、この辺は水辺もつながっているところがございますので、定期的な連絡会を実施しているところがございます。

また、現在、観光振興協議会の中では、目黒川を活用したにぎわいの創出という視点もございまして、目黒区とも活発に交流をしていきたいと考えているところがございます。

#### ○のだて委員

私はこの都市型観光の調査をするのは初めてなので、そもそも論といいましょうか、都市型観光というのは何なのかというところを伺いたいと思います。また、これによる区の目的が何かということです。先ほど少しご説明があったかもしれませんが、もう一度伺いたいと思います。私は、商店街ですとか、あとは史跡など、今ある資源を活用してやっていくというのが都市型観光だと理解をしているのですが、区の見解を伺いたいと思います。

あと、今回の資料の中で、各種イベントの取組みということで(1)から(7)まで出していただいたのですが、この掲載順というのは区の優先順位になっているということなのか、伺いたいと思います。

#### ○立川文化観光課長

品川区の考える都市型観光でございます。冒頭にもお話をしましたとおり、「繰り返し訪れて楽しい

まち しながわ～日常の生活環境に着目した官民連携による都市型観光の推進～」の一言に尽きるものと思います。

それから、掲載順でございますが、これは都市型観光プランの中に戦略・施策の基本が(1)から(6)まででございますが、その順番に並べたものでございます。

#### ○のだて委員

そうすると、順番のほうは特に区が充実したい順番というわけではなく、計画の順番で並べたということで、計画の順番も、別にそれは優先順位、充実していこうという順番ではないということなのか、伺いたいと思います。

あと、都市型観光というのが、先ほどのコンセプト・目標のとおりだということだったのですけれども、もう少し具体的に、私のイメージでは、商店街とか史跡に来てもらって、住民の方が住んでいる、お祭りもあると思うのですけれども、そういったところ、来ていただいた方に一緒に楽しんでもらうといいでしょうか、そういった形のものなのかなと理解しているのですけれども、そこについて伺いたいと思います。

#### ○立川文化観光課長

観光コンテンツの充実という視点から考えると、ウォーターフロントであるとか商店街であるとか歴史であるとかスポーツであるとか文化・芸術であるとか、また、ショートトリップであるとか、こういったことを多角的に実施していく必要があると考えているところでございます。

それから、都市型観光をもう少し具体的にということでございますが、品川区の推進する都市型観光は、商店街、水辺や公園、地域の祭礼というような暮らしや生活文化に根差した資源を通して、来訪者が区民と触れ合い交流することで、繰り返し訪れて楽しい観光都市を目指すものですといった、先ほどお話したとおりでございます。

#### ○大倉委員

教えていただきたいのですが、この資料はそもそもどういった資料なのでしょう。選択したイベントだったり、内容、歴史、スポーツ、文化・芸術、多分ほかにもあったりするのかなんて思っているのですけれども、何をもとに選定をして、この資料をどうやって使っていくというところなのか。

#### ○立川文化観光課長

こちらはこういった事業かということでございます。まず、区の広報紙に掲載されたもの、もう1つが、区の後援名義申請があったものという2点でございます。当然、区民まつりも入っておりませんし、文化振興事業団の各種事業も入っておりませんし、水族館の各種イベントも入ってございません。

これは主に、考え方としましては、観光振興の取組みの視点として、こういった視点があるかということで、(1)から(6)まで挙げさせていただきました、その具体的な取組みや、こういった内容があるということを示させていただいたものでございます。

#### ○大倉委員

では、これは今後何かに使うというよりは、今回こういう形でいろいろなことをやっていますよというところで、広報紙に載ったところと後援名義を出したところが載っているという理解ですか。わかりました。

#### ○渡辺委員

全般的なことを伺います。区の役割、行政の役割と地域の役割を分けたときに、今、イベント紹介がいろいろありました。よく言われるのは、イベントのためのイベントではなくて、その先にはいろいろ

な施策のテーマ、まちづくりのビジョン等があります。

その中で、最近感じることを少し言わせていただいて、それに対してご答弁をいただこうと思うのですが、予算も含めて行政の役割で非常に思うのが、まず公共性のところ。今の時代、何のイベントをやるにしても、警備だとか安全管理、その辺はすごくあると思うのです。

地域の方々も、イベントを育てようとして、いろいろお金を得る仕組みとこののですか、予算が入る仕組みを工夫はしているのですが、採算ベースのものと採算ではなくて必要なものがあると思うのです。それが、例を言えばトイレの充実。例えば仮設のトイレだとか、あると思います。トイレの充実があったり、あるいは誘導であったり安全管理。この辺は採算性がなくても行事としてはとても必要なポイントだと思うのです。こういうところを助けてあげられると、地域としてはニーズがあって助かるなという声をたくさんいただきます。それがまず1つ。この辺についてどう考えるのかということ。

それとあと、先ほど言った目的が、イベントのためのイベントではないとしたときに、その先にどうやっていくのだろうというストーリーがあると思うのですね。そのときに、効果測定あるいは意識調査をやります。例えば今挙げられたどのイベントでも、参加した人がどう感じているのか、あるいは課題は何か、そしてこの先のニーズは何かということと、実際、まちの方がやっている実行委員会、やりたくても手が回らない。こんなことをもし行政が調査会社等に委託して調査できたならば、その地域の貴重な情報というかデータとなって、財産をまちで共有できる、行政が支えられたらいいなという思いがひとつありました。

それとあと、今、品川区のテーマでもあるような都市間交流というのですか、市区町村との交流であったり、地域が連携したり、これは水辺なんかでもそうですし、近隣の区や自治体と連携をしていく、あるいは物産だけではなく、大きな流れの中で、地方自治体と連携していくような、ここは、縁があるのはあるのですね、地域にも。ところが、そのとき、行き来をするにしても、来てもらうにしても、こちらが行くにしても、これも採算がとれるものではないから、予算が非常に弱いところがある。やりたいのだけれどもできないところかなという思いも含めて言うと、以上の3つの点なのですが、行政のすべき支援という意味で、どのようにお考えか、教えてください。

#### ○立川文化観光課長

イベントは、最初は小さくても、評判を呼ぶとだんだん拡大していったりします。そういった場合に一番の問題点というのは、やはりトイレであるとか警備・誘導であるとか、来街者の安全面をどう配慮するかということでございます。

そういった意味では、イベント自体が黒字化しているイベントでないとなかなか難しいかなと。基本的に行政が支援するイベントもございまして、まちの方が協賛者から寄附を募って実施するイベントもございまして。

それで、トイレでありますとか警備・誘導であります、こちらはかなり金額がかかるということでございますので、協賛企業から幾らお金を集めても足りないということがございます。そういった部分につきましては、イベントの規模であるとか来街者数であるとか、そういったもの全て、当然実績であるとか今後の予想であるとか、そういったことを勘案して、イベントづくりをしていく必要があると思います。

例えば麻布十番で毎年実施しているイベントなどは、五、六十万人が来場するイベントになっていまして、まちの意見としましては、規模と知名度が高くなり過ぎて、実際に来ていただいても、歩けないであるとか駅までたどり着けないとか、そういった課題等もございまして、区の考えとしましては、

必要なところに当然支援はしていくことになるのですけれども、イベント規模とかイベント会場の広さとか、そういったことも今後いかにコントロールしていくのかということも重要な要素かなと考えているところでございます。

それから、効果測定というお話でございますが、どう調査するかというのはなかなか難しいと考えているところでございます。典型的な効果測定として、まず主催者発表というのがございます。それから駅の乗降人数というのがございます。また、周辺の商店等の売上という、こういったものはある程度指標となるのかなと考えておりますので、実際にイベントを今後続けていくことになりましたら、その辺の情報は収集していこうと考えているところでございます。

地方都市との連携ということで、さまざまイベントを実施しているところでございますけれども、委員ご指摘のとおり、交通費や宿泊費がかかるというところでございます。ですから、実際どこまでできるかというのは、今後検討していく必要があると考えています。

### ○渡辺委員

今、考えられる課題の一部を取り上げて伺っただけなのですが、常にいろいろな対応を考えられていらっしゃるメニューも強調してもらえたらなど。私が聞いた地域の声です。

もう1つ、所管をまたがるのがこれからも行政の中で多いと思うのですね。例えばシティプロモーションも、同趣旨な部分はたくさんあると思うのですが、どうしても行政の役割の中では、連携がかなり必要な部分かなと思います。

もう1つは、リーダーシップのお話を最後に伺おうと思います。文化観光課という所管は、今、非常に多岐にわたると、所管としては、携わる区民の率あるいは来訪者の延べ人数も含めたら、すごい数になると思うのですね。それがあある意味、花形でもあるのですが、苦勞も多いと思います。リーダーシップという観点で、どのように区内で横断的にやっていくのか、その辺を伺いたいです。

1つの例をいうと、例えば実施時期。先ほどのアートのイベントもそうなのですが、本当に8月の最終週、大井どんたくやとごしぎんぎまつりや、いろいろある中で、夏、秋はすごく繁忙期だと思うのです。ただ、区民の方も一番楽しみにしているのは、今週は何のイベントがある、毎週末にイベントがあるような、1年通したときに、品川の活気という意味で、毎週何かやっている、生き生きしているのが品川区だと言えるように、日程なんかは1つの事例だと思うのですね。たまに空白があったり、大きなイベントが2つも3つも重なってしまうときはやむを得ずあると思うのです。ただ、それも行政の情報力からすれば、前年度から施設利用を含めて、うまい調整ができると思います。

最終的には、リーダーシップを持って、毎週末何かをやっている、「休みの日には何かをやっている品川区」という情報発信が理想的だと思うのです。その辺について、お考えを教えてください。

### ○立川文化観光課長

観光施策を進めていく上では、さまざまな所管がかかわるということでございます。区としましては、観光振興の本部組織、うちが事務局になっているのですが、あらゆる所管を集めて、区長を本部長としまして、そういった組織を運営しているところでございます。

また、事業者につきましては、観光振興協議会をつくりまして、それぞれ情報発信であるとか水辺活用であるとか、部会を設けて、さまざま研究しているところでございます。

ですから、今、委員がご指摘のところというのは、区としては体制をとり、また、情報発信についても、今後、より充実していくということで、現在、検討を重ねているところでございます。

### ○渡辺委員

1点だけ、この場で報告といたしますか、先々週、地域行事の準備段階で、実行委員の連合町会長がいろいろな施設利用の件で、秋のイベントを頼みに庁内を歩かれたのですね。そのときに、実は区の最初の所管の窓口が、これは文化観光課なのですけれども、それぞれ所管を超えて、福祉部門だとか学校部門に情報を事前に伝えておいていただいたのですね。

そうしたら、事前の情報で話が共有でき、本当に心遣いの1つですよ、先方も理解度が高くて、いろいろな応用が、その場をもっていい打ち合わせができたという事例がありました。これは文化観光課のリーダーシップの1つ、本当に1つの心遣いでものすごくいい打ち合わせがそれぞれできたというお褒めの言葉をいただいたという経緯があったので、これからもよろしくお願ひしますということです。

#### ○大倉委員

教えていただきたいことは、イベントは品川区内で大小含め、どのくらいあって、どのくらい把握されているとかというのはあるのですか。今後、またこういった地域のイベントとか、今回はこれだけですけれども、もっと活用できるイベントがあるのか、それともこれから活用していくときに、今回みたいな企業との連携とか、投げて、こういうところでこの時期にやってもらえませんかみたいな考えもあるのか、渡辺委員もおっしゃっていましたが、これ、挙げているのだけ見ると、5月、6月とか12月は全くイベントがないとか、継続して見ていると、ないところが結構あったりとか、時期の問題とか、その辺も調べながら、全体でイベントがいろいろ行われているというところも意識しながらやっていかれるのかなと思っているのですけれども、その辺のイベント調査、どのくらいやっているかというところの考え方について、教えてください。

#### ○立川文化観光課長

区全体のイベントということでございますけれども、全体調査は実施しておりません。

また、例えばなのですけれども、文化振興事業団がきゅりあんなどで、区の行事とか振興事業団の行事ではなくて、発表会であるとか企業の展示会とか講習会みたいなものも実施しておりますので、今後はそういった来街者が増えるという切り口からのイベントも、さまざま調査していきたいと考えているところでございます。

#### ○大倉委員

展示とか、そういうものと、この日やるお祭りとか、いろいろなかわり方、関係の持ち方があるのかなというところで、何で大体どんなことをやっていて、地域の方に聞くでもいいですし、評判のイベントを調べてみるとかでもいいので、品川区全体でどのくらいやっていてとかということは、調べてもいいのかなと。今後の観光というところでいうと。

先ほど言っていたような効果測定を、区である程度一定の基準がある中で、ではこれにしていこうという選定が初めてできるのかなと思うので、その辺も考えていってはどうかなと思いました。

#### ○立川文化観光課長

例えばイオンであるとかイトーヨーカドーであるとか、そういったところでイベントを打っておりますので、今後、把握に努めていきたいと考えているところでございます。

#### ○本多委員長

よろしいでしょうか。

それでは、以上で所管事務調査を終了いたしますが、今日のテーマであります都市型観光について、また今後、取り上げて、議論が活発になるように、そういう運営になるように努めてまいります。よろしくお願ひいたします。



---

### 3 行政視察について

#### ○本多委員長

次に、予定表3の行政視察についてを議題に供します。

前回の委員会でご確認いただきました候補地をもとに、視察先および視察項目について、先方との調整をさせていただきました。

行程といたしましては、初日、9月4日の午後に八戸市で、「八戸ポータルミュージアムはっち」について。2日目、5日の午前に函館市で、「函館市地域交流まちづくりセンター」について。そして最終日、6日の午前に札幌市にて、「インバウンドプロモーション～外国人誘客事業」について、それぞれ視察してまいりたいと思います。

また、宿泊については、4日は函館市、5日は札幌市の予定で考えております。

この内容で視察を実施することとし、実際の行程など細かい調整を進めまして、日程や視察先に変更等が出た場合は、正副一任とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

#### ○本多委員長

ありがとうございます。

なお、次回の委員会で事前の勉強会を行いたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。この行政視察がより実りあるものとなるよう、勉強会に際しましては、各委員それぞれ、少し視察先についてお調べいただいて、どういう視点を持って調査していきたいか、どういうことを先方に聞いて確認したいかなど、積極的に意見を出していただき、委員会として問題意識などを明確化していきたいと思っております。いただきましたご意見等につきましては、あらかじめ先方にもお伝えしておきたいと考えております。よろしく願いいたします。

以上で本件を終了いたします。

---

### 4 その他

#### ○本多委員長

最後に、予定表4のその他を議題に供します。

その他で何かございますか。

#### ○伊崎地域活動課長

それでは私から、ご近所SNS「マチマチ」を活用した地域情報の発信について、お話をさせていただきます。

お手元にお配りしましたのはチラシでございまして、そちらを今、各町会・自治会、それから区民の皆様、学校、保育園、幼稚園、地域センター等を通じてお配りしているところでございます。

このSNS「マチマチ」は、地域住民同士で情報のやりとりができるもので、今回、これを運営している株式会社マチマチと品川区が協定を結びまして、「マチマチ for 自治体」を導入することといたしました。このサービスでは、町会・自治会の情報発信機能のほかに、町会コミュニティ機能が新しくつくられており、各町会・自治会ごとに加入者のみでの情報共有やデジタル回覧板の機能が使えるようになります。

6月以降、町会長会議で導入の説明に回っておりまして、あと1地区残すところとなっております。

区といたしましては、各町会・自治会が容易にご利用いただけますよう、個別に導入についてサポートを行い、各町会・自治会のご要望に合わせた活用ができるよう、寄り添った支援をしております。

なお、導入のサポートには、現在、町会ホームページ作成支援で協定を結んでおります明治大学にもお願いをしております、明治大学、「マチマチ」で町会・自治会を支えるこのシステムを有効に使っていただけるように支援しております。

#### ○本多委員長

報告が終わりました。

本件に関しまして、ご確認等ございましたら、ご発言願います。

#### ○田中委員

アプリとかそういう話なのですか、ごめんなさい、私、こういうパソコンのものとかが苦手で、全く意味がわかっていないのですけれども、町会の方たちもきっと、こういうのができました、情報共有ができるようになりましたとなったとしても、使い方とかがどうしたらいいのかなと思われてしまうと思うのですけれども、その辺はどなたかが町会長とかに伺って説明とかを丁寧にされるのですか。

#### ○伊崎地域活動課長

今ご説明しましたように、各町会長会議でまず全体を幅広く、概要をご説明いたします。その後、町会や自治会の役員の方なり長の方なり、実際に広報担当の方など、どなたでもご希望の方に対しまして、区が個別にご説明にいきます。

まずこのシステムはどういったものかという理解を深めていただいた上で、その後、明治大学のサポート部隊も含めまして、どうやってその町会・自治会独自の活用方法をご希望されているものにつくり込んでいくかということをご相談しております。

これはアプリといいますか、掲示板でして、アプリ形式ではないのです。ですので、「マチマチ」というふうにインターネット検索をしていただきますと、マチマチのホームページが出てくるのですが、その中に登録画面がありまして、まずこの「マチマチ」は本名で登録しないと使えないようになっていきますので、安全かつ衛生を担保するということ、虚偽の情報などが飛び交うことのないようということで、本名登録、あと郵便番号で地域の登録をして、その地域の、1.5キロ範囲で登録した地域の情報の検索ができるようになります。

その検索ができるページ、今、チラシのここにあるのは、まだ「マチマチ for 自治体」に品川区が登録する前のページですので、ここでは入ってこないのですけれども、今、ここをあけていただくと、公共機関というところから、品川区もホームページを登録していますので、まず区の情報発信は既にここで見られるようになっています。これに加えて、ここにコミュニティというタグが1つできています、そこに町会・自治会の情報発信がいろいろできるようなページをつくっていくというようなイメージになります。

SNSですので、地域限定型のSNSとして、コミュニティの中で使えるものでございます。

#### ○田中委員

ありがとうございます。このチラシの画面だけ見ていると、名前と顔写真が載っているのですが、そのコミュニティの中に入っていくと、自分の地域の人の名前と顔がわかるというシステムなのですか。

#### ○伊崎地域活動課長

登録されている個人が投稿したものもちろん見られますけれども、町会・自治会としてここにご登録していただくと、実際にはないですが、例えば広町二丁目町会という名称でここにページをつくって

いただくと、ここに「広町二丁目町会」というふうに出てきまして、その町会で発信する情報がいろいろ見られるようになるということでございます。

#### ○田中委員

見るためには、自分も名前と顔写真を載せなければだめということですか。

#### ○伊崎地域活動課長

本名の登録は必要ですが、顔写真は自由でございます。載せなくても見ることはできます。

今申し上げましたのは情報発信のほうでして、今回これをやりましたのは、それに加えて、「マチマチ for 自治体」の中に町会コミュニティ機能というのが新たにできたのです。それを活用していただくことで、閉じられた町会の中だけで例えば回覧を回すとか情報伝達をするとか、あと現在はまだ開発中なのですが、町会費の回収もそこでできるようになるということが目指されていますので、そういったことが、これ全部をやらなければいけないわけではなくて、カスタマイズして、町会・自治会のご要望に応じた形のものをつくっていただけるということですので、町会コミュニティ機能も使えるということで、今回、協定を結んだということでございます。

#### ○田中委員

このチラシの絵の様子とかを見ると、何となく自分の顔とかもさらして、地域とかもわかってしまうので、もしかしたら万が一のこととかが起きるのかなとかという心配があったのですけれども、その辺はどうなのでしょう。

#### ○伊崎地域活動課長

まずセキュリティは、「マチマチ」で常に監視をしております。不適切な情報や誹謗中傷などは随時削除するということと、あと、そういった投稿があった方には出入り禁止、投稿・閲覧をできなくするというような措置をとることになります。

あと、顔写真の掲載については、そこは自由に選択ができます。必須条件ではございません。

#### ○大倉委員

教えてください。これは町会とかをつくる際に、例えば広町二丁目町会というのを誰かがつくって、1回つくると次の人たちがつくれなくなるということではないのでしょうか。例えば私が住んでいる小山台一丁目。小山台一丁目には2つ町会があると。その町会ごとに投稿ができるということではないのか。それとも例えば小山台一丁目を1個つくってしまうと、もう1個も小山台一丁目、名前は違いますが、東とかというのがつくれるのかなと思うのですけれども、小山台一丁目町会が2個できてしまうみたいな、そういうことはあるのですか。

あと、これはいろいろな方が地域で登録されて、その情報とか、例えば品川区の住みよさとかという選択肢も、やってみてあったのですけれども、そういう中のいろいろな人のニーズとかデータとかというのは、うまく品川区が「マチマチ」と連携してとれるようになっているのですか。

#### ○伊崎地域活動課長

こちら、SNSですので、基本的に町会・自治会の方がページをつくるということは、その町会・自治会ごとにできます。ですので、小山台一丁目町会と東町会と2つつくこともできますし、この町会の近隣の方たちに対しての情報発信ですので、細かく町丁目まで限定をして、その人たち以外は見られないという情報発信の仕方ではないと。

それをするためには、先ほど申し上げました町会コミュニティ機能を使って、閉じられたSNSをつくることになりますので、外に向けた情報発信と、町会内での閉じられた情報発信の二通りが並行して

できるというイメージです。

こちらを取り入れた大きな理由が、今おっしゃったいろいろな方がこういったご近所掲示板については、こちらに載っていますように、特に若い方が登録をされて、いろいろな情報をSNS上でご覧になっているということで、そういった方たちに町会・自治会情報を一番効率よく発信するやり方。今、ホームページもやっておりますが、このマチマチもホームページと並行して活用することで、町会・自治会の情報が若い方の目に届くようにしていくということも1つの理由でございます。

区がこの方たちの情報に対して、ビッグデータという意味でおっしゃっているかと思うのですが、今はそういった形でデータをとるということは、特に協定は結んでおりません。

#### ○大倉委員

それこそなかなかアプローチが難しいところの人たちへアプローチしていくという意味では、そういう人たちのデータがここにあるので、そういうのもうまく活用させてもらえるようにしたらいいのではないかなと思ったのですけれども、どうでしょうか。

あと、最初の町会のことはわかりました。これは、でも、つくって、やってという運営は大変だと思いますけれども。

#### ○伊崎地域活動課長

「マチマチ」のこの中にページをつくること自体は、「マチマチ」の方とメールをやりとりすればつくれる程度のものだということです。

ただ、そうは言っても、町会の方、なかなか得意でない分野ですので、そこで区と明治大学のほうで進めていくということと、あとは作り込みですね。ただページを載せるだけではなくて、どうやって活用していくかということもありますので、明治大学とともに、区も寄り添った支援をしていくということで考えております。

#### ○田中委員

今、「マチマチ」のページを見てみたときに、公共機関として渋谷区などが上がっているのですけれども、ほかの区とか提携されている自治体では、これの使用感というか、そういう感想とかはありますか。

#### ○伊崎地域活動課長

ほかの区では、「マチマチ for 自治体」という機能止まりなのです。町会コミュニティ機能を区として取り入れるのは品川区が初めてなので、そういったところの感想をお聞きすることはできないのですが、情報発信には役立っているようです。

#### ○本多委員長

よろしいでしょうか。

以上で本件を終了いたします。

ほかに、その他で何かございますか。

#### ○池田スポーツ推進課長

私からは、「ひろみち先生としながわ体操」の実施について、ご説明させていただきます。

まず目的でございます。区民の健康増進のため、昨年6月に完成いたしましたしながわ体操につきまして、子どもから高齢者まで広く普及させるため、普及イベントを実施するものでございます。

内容といたしましては、体操のお兄さんこと佐藤弘道氏によるしながわ体操の指導会「ひろみち先生としながわ体操」ということで実施するものでございます。

日時でございます。9月24日、振替休日の月曜日になります。午後2時から3時30分で、受付が1時30分からということになります。

会場が、総合体育館の競技場、アリーナでございます。

講師としましては、佐藤弘道氏を予定してございまして、対象は、品川区在住・在勤・在学で、小学生以上の方を予定しておりまして、先着300名を予定してございます。

申込につきましては、8月1日から20日までに、電話、はがき、ファックスでのお申込ということになります。

なお、参加費については無料となります。

予算額でございます。こちらのしながわ体操普及イベントの講師謝礼としまして50万円、普及イベントの設営委託として18万4,000円ということになってございます。

周知につきましては、広報しながわ8月1日号と区ホームページ、区施設へのチラシ配布ということございまして、裏面にチラシがついているところでございます。

#### ○本多委員長

報告が終わりました。

本件に関しまして、ご確認等ございましたら、ご発言願います。

#### ○大倉委員

今見ると、ユーチューブでも何でも、動画として「しながわ体操」自体があまり出ていないというか、調べ切れなかったのですけれども、私も1回、体操しました。ただ、ちょっと調べようと思っても、なかなか体操の動きとかが、ネット上で調べたときに行き着かなかったもので、こういうのを例えば使ってやったときの動画とかが使えるのかはわからないのですけれども、発信をうまくしていったほうがいいのかなど。

例えば、ここには書いていないのですけれども、「マチマチ」でこういうのをやりますよとかという周知と、終わった後のこういうのをやりました、しながわ体操を覚えてくださいみたいな、効果的な使い方、動画なのか、写真でちょっとずつ教えていくのかわからないのですけれども、そういう活用みたいなものを考えられていると思うのですが、何かお考えがあれば。

#### ○池田スポーツ推進課長

こちらの動画についてですが、著作権の関係でなかなか放送ができないというところがございまして、ユーチューブということなども少し考えさせていただいたのですが、そこは難しいところでございます。

また、こちらのイベントにつきましては、ケーブルテレビしながわに取材に来ていただき、放送する予定でございます。

あともう1点、写真については、写られている方の肖像権等がございますので、こちらも広く普及ができないというところがございます。その部分では出前教室も行っているところでございまして、出前教室につきましても、前回の委員会で報告させていただいたと思いますけれども、申込が保育園やシルバーセンターを利用されている方から既に何件かあるところでございますので、今後、そういった地道な活動をしながら、ケーブルテレビ等も活用しながら、その様子を区民の方に周知できればと考えているところでございます。

あともう1点、FM放送等が区でも行われるということで、FM放送を活用して、しながわ体操の情報をということも考えているところでございますけれども、まだ本格的なFM放送の動きが示されていないものですので、そこら辺はまた今後検討したいと考えております。

○本多委員長

ほかになければ、以上で本件を終了いたします。

ほかにも、その他で何かありますか。

○のだて委員

どこで言ったらいいかわからなかったのですが、今日示されたいろいろな資料に、予算額が書いてあるところと書いていないところがあったのですが、この違いは何なのかということなのですが、書いてあったほうがわかりやすいので、書いていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○本多委員長

そういう要望がありましたので、できる限り努めていただければと思います。特に今はいいですか。なければ、そのように申し入れをさせていただきますので、よろしく願いいたします。

よろしいですか。ほかにも何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本多委員長

ないようですので、以上でその他を終了いたします。

以上で、本日の予定は全て終了いたしました。

これをもちまして、区民委員会を閉会いたします。

○午後2時30分閉会